



岩手県立不來方高等学校

同窓会報 不來方

Vol.31

2021. 2. 26

発行 不來方高校同窓会

印刷 五六堂印刷



第52回全国高等学校選抜ホッケー大会
令和2年12月22日-27日 ■ Kawasaki 川崎重工ホッケースタジアム
ホッケー部女子(全国選抜大会ベスト8)



全国高等学校弓道選抜大会
弓道部女子(全国選抜大会第5位)



をもって強気で勝負
田高高等学校女子バレーボール部
バレーボール部男子(春高バレー出場)



2-6阿部早彩
(全国高校英作文コンテスト
文部科学大臣賞)



コロナ禍の同窓会

同窓会長 沢田 雅宏

毎日のように聞かれるようになった「三密」、「ソーシャルディスタンス」、「新規感染者数」等々。今や日常の言葉として私たちの生活の中に入ってきています。一方で今まで日常だったことが制限され、中止になったり、変更を余儀なくされたりしています。日常的なマスクの着用をはじめ、今まで当たり前のことのように行われていた各種のイベントの開催が難しくなったり、会合等での集まりや外での食事ですら気を遣いながら取らなければならないような状況となりました。新型コロナウイルスがもたらす影響を受けているのは残念ながら同窓会も例外ではありません。

同窓会におきましても新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は役員会、代表者会議の開催を中止としてきました。年間を通してただでも開催機会の少ない会議を中止するというは苦渋の判断ではありましたが、万が一というリスクを考えるとこのような判断に至りましたことをご理解賜りますようお願いいたします。

今年度は在校生の皆さんにとっても大変な一年だったと思います。部活動における各種大会の中止、あるいは規模の縮小、無観客による開催など例年のない形となり、また、学校行事においても中止や変更が相次ぎました。今まで私たちが経験したことのないような様々な制限や制約がある

中で、大切なことは決して諦めなという強い気持ちではないかと思えます。既存の方法でできないのであれば何か違った形でできないか模索すること、知恵を出し新たな手段を作り上げていくことなどが必要であり、それぞれの状況に合わせて柔軟に判断することが大切なのではないでしょうか。このようなコロナ禍の状況がいつまで続くのかは分かりませんが、状況に流され諦めるのではなく、その状況に立ち向かい諦めず打破していく力と叡智は今後の生活においても必ず役立つくるものと思います。

先日、機会があり他校の部活動の全国大会出場後援会に関わらせていただくことができました。県内でもかなりの伝統校ということもあり、同窓会の在り方という意味でも私自身とても良い勉強をさせていただいたとともに、良い意味でかなりの刺激を受けたと思えます。勿論楽しいきた歴史や伝統の違い、年齢的なものなど違いは多分にあると思いますが、同窓会が主体となり物事を進めていくそのパワーに圧倒され、物事に取り組んでいく組織力に感心させられました。同時に力不足を痛感させられたと共に、今後の課題や目指すべき形の一端を見せていただいたような感覚を覚えました。

まだまだ力不足の同窓会ではありますが、このコロナ禍において微力ながらも尚一層母校不來方を支援すべく今後もより一層努力して参りたいと存じますので同窓生の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

躍進 不來方!

PTA文化記念講演会

オリンピックを目指すアスリートからのメッセージ



「しなやかな強さを身につける」

校長 熊谷 和浩



同窓会員の皆さまには、日ごろから母校に対する厚い御支援を賜り誠にありがとうございます。令和2年度の3年生も旅立ちの時を迎え、同窓会のお仲間に加わることとなりました。後輩会員として各所でお世話になるかと存じますので、よろしく御指導をお願いいたします。

さて、令和2年度は、社会生活に大きな変化をもたらす年度となりました。学校においても、日常生活はもとより全ての学校行事に感染予防の対応が求められ、「新しい日常」の中で教育活動を進めて参りました。そんな中、部活動等に係る多くの大会が中止され、活躍を期して日々練習に励んできた生徒たちは大切な機会を奪われました。特にも、3年生の心中は察するに余りあります。しかし、そんな状況下でも、音楽部は定期公演を5回に分けて行い、運動部はインターハイ中止後の全国大会開催を信じて練習を積んでおりました。

そんな生徒たちに力を与えてくれたのが、同窓生であり、同じくオリンピック延期という逆境を経験した水本圭治・及川葉の両選手でした。講演会で登壇したお二人は、延期が自分をより伸ばす機会であり、成長後の自分の姿をイメージしてわくわくしているとおっしゃいまし

た。迷いなくできることをするという言葉は、確実に生徒たちの背中を押してくれました。

その後の生徒たちは、置かれている状況を嘆くのではなく、いま自分にできることを見だして全力を尽くしていました。むしろ、感傷的な同情を拒む、凜とした姿を見せてくれました。ホッケー部女子は全国高校選抜大会においてベスト8を獲得し、弓道部女子は5位を射貫きました。バレーボール部男子は、県内大会を制し春高バレー全国大会出場を果たしました。ハンドボール部もこれに続いて全国大会への準備をしています。

今年の3年生は、大学入試においてもたびたびの変更に翻弄され続けました。それに加えてこのコロナ禍であり、心の平穏を保つことが大変難しい環境に見舞われました。しかし、逆境にもまれた生徒たちは、この経験によってしなやかな強さを身につけています。先行き不透明な時代において、むしろ必要とされる能力を着実に得ているといえるかもしれません。

この度の同窓生の激励という機縁に感謝しつつ、今後とも不來方高校の生徒たちを見守っていただきますようお願い申し上げます。



男子ハンドボール部
県新人大大会 優勝
全国選抜大会出場決定



女子ハンドボール部
県新人大大会 優勝
全国選抜大会出場決定



カヌー部
県新人大大会 優勝



柔道部
第43回全国高校柔道選手権大会岩手県大会
女子団体 準優勝
女子個人48kg 優勝 (全国選手権出場)



ラグビー部
県新人大大会 Bブロック
優勝 (Aブロック昇格)



空手部
第38回岩手県高等学校新人空手道大会
女子団体形・女子団体組手 準優勝
東北選抜大会 出場



ホッケー部女子
全国選抜大会 ベスト8
東北選抜大会優勝



ホッケー部男子
東北選抜大会 ベスト4



男子サッカー部
新人戦 ベスト4



男子バレーボール
第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会 優勝
第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 出場



弓道女子
第39回全国高等学校弓道
選抜大会 ベスト8



音楽部
第30回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト
A・B・Cチーム 金賞
Cチーム全国大会 出場



軽音楽部
第44回全国高等学校総合文化祭
高知大会 出場



芸術学系・音楽コース
第12回東京国際声楽コンクール本選
高校3年・卒業生部門
奨励賞 小野寺陸 入選 瀧沢幸香

2020 主な大会記録

運動部	
■新人大大会 女子 三段旗 第2位 田中 優里 (東北大会出場決定) 【水泳】 ■県新大会 男子 100m 平泳ぎ 第2位 菊池遥斗 (東北大会出場) 200m 平泳ぎ 第4位 菊池遥斗 (東北大会出場) 200m 自由形 第5位 武元大 400m 自由形 第5位 武元大 400m リレー 第5位 武元 菊池 大矢 青藤 400m フリーリレー 第5位 武元 菊池 大矢 大矢 200m 自由形 第3位 山崎寿之 (東北大会出場) 200m パラフライ 第5位 山崎寿之	■県新大会 女子 出場 ■第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会 男子 優勝 (2年連続) ■第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会 男子 出場 ■新人大大会 男子 2位 女子 2位 2位 【水泳】 ■新人大大会 男子 初級競泳 新谷、中野、伊藤、天摩 女子 初級競泳 田村、北田、瀧、大平 【サッカー】 ■2020 岩手県 U-18 サッカー大会 男子 ベスト4 ■第90回全国高等学校サッカー選手権大会 男子 優勝 ■第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 岩手県大会 男子 ベスト4 ■第55回岩手県高等学校新人サッカー大会 男子 ベスト4 女子 出場

■新人大大会 男子 81kg級 ベスト8 高橋悠成 90kg級 ベスト8 加藤淳治 女子 団体 優勝 個人 48kg級 優勝 高田あさ緒 (全国選手権出場) ■県選抜大会 女子 団体 優勝 高田あさ緒 (東北選抜出場) ■東北選抜大会 女子 団体 優勝 ■第52回全国高等学校選抜ホッケー大会 男子 優勝 女子 優勝 ■令和2年度東北高等学校選抜ホッケー大会 男子 4位 女子 優勝 ■第52回全国高等学校選抜ホッケー大会 男子 ベスト8 【カヌー】 ■県新人大会 男子 C1 1位 鈴木 2位 藤原 3位 佐々木 C2 1位 鈴木、藤原 K1 1位 藤原 2位 阿部 3位 瀧川 K2 1位 阿部、瀧川 女子 C1 1位 高橋 2位 小川 3位 小岩 K2 1位 小川、高橋 2位 小岩、椋田 3位 伊藤、村村 K4 1位 小岩、小川、高橋、椋田 【空手】 ■県新人大会 男子 個人組手 55kg級 2位 山口碧吾 団体形 2位 佐藤美香、土山希実、伊藤紗花 (東北大会出場) 個人形 3位 佐藤美香 (東北大会出場) ■県新人大会 優勝 Bブロック (ベスト8) (Aブロック昇格) ■新人大大会 男子 優勝 (5年連続25回目) 女子 優勝 (7年連続16回目) ■県選抜大会 男子 優勝 (4年連続25回目) (全国大会出場) 女子 優勝 (13年連続16回目) (全国大会出場) 【バドミントン】 ■県新人大会 男子 団体 出場 女子 団体 出場 ■第43回岩手県高等学校 1・2年体別選抜選手権大会 男子 60kg級 ベスト8 松山達夫 81kg級 3位 高橋悠成 90kg級 3位 加藤淳治 男子 個人 48kg級 準優勝 高田あさ緒

文化部等	
【美術】 ■第43回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展 【絵画部門】 特賞 河原田悠希、高橋蓮、佐々木大輝、藤村春花、谷地夏葉、阿部紫々花、小原海斗、藤澤秀一朗、山口梨葉 【デザイン部門】 特賞 石川真月、沼澤玲奈、伊藤純美、佐藤侑海、千葉果実 【立休部門】 特賞 青藤夢羽、駒田怜、平上晴菜 ■令和2年度若者向け地域連携推進市内学生デザインコンテスト 入賞 佐藤侑海 千葉果実 ■第73回若者芸術祭美術展 【絵画部門】 特賞 佐藤美香 宮地実美 【デザイン部門】 特賞 石川真月、川田実月 【工芸】 ■第43回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展 【アート・オブジェ部門】 優良賞第4位 東北推薦 【アート・オブジェ部門】 優良賞第2位 【アート・オブジェ部門】 優良賞第3位 全日本推薦 【アート・オブジェ部門】 優良賞第4位 東北推薦 【アート・オブジェ部門】 優良賞第5位 東北推薦 ■第13回山形大学高校芸術コンテスト 推薦 小山島尊海 特選 高橋志穂 ■第43回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門発表会 優良賞 新川鞠本 ■第30回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 金賞 不来方高校C (全国大会出場) 不来方高校A 不来方高校B 【吹奏楽】 ■第43回全国高等学校吹奏楽大会2020 銀賞 ■全日本アンサンブルコンテスト第41回 岩手県大会盛岡予選 打楽器三重奏 銀賞 金管五重奏 銀賞 サックス三重奏 金賞 【演劇】 ■第43回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門発表会 優良賞 新川鞠本 ■第43回東北地区高等学校演劇発表会 優良賞 「1918 命に生まれし若者よ 性善を謳歌せよ」 ■第43回東北地区高等学校演劇発表会 優良賞 高橋美緒 山崎悠希 入賞 高橋美緒 橋本悠希 佐佐和佳 ■第33回岩手県高校生演劇コンテスト 特賞 高橋美緒 ■第24回岩手県高校生演劇コンテスト 特賞 高橋美緒 ■第44回全国高等学校総合文化祭演劇部門発表会 優良賞 高橋美緒 佐佐和佳 ■第33回岩手県高校生演劇コンテスト 特賞 高橋美緒 ■令和2年度スワイドフォトコンテスト 入賞 山崎悠希 橋本悠希 佐佐和佳 【軽音楽】 ■令和2年度若者芸術祭市内学生軽音楽コンテスト 1位 瀧沢 浅野 小田島尊海 ■第49回岩手県小・中・高校若者音楽コンクール 推薦 小山島尊海 特選 高橋志穂 【音楽】 ■第70回岩手県高等学校家庭クラブ研究発表大会 オーケストラ部門 優良賞 「製糖機稼働の森のめぐみ」 中村将乃香 【外国語学系】 ■令和2年度若者芸術祭市内学生英語スピーチコンテスト 第1位 竹田永美 第2位 白戸陽帆 ■第59回全国高等学校生徒作文コンテスト 2・3年部門 最優秀賞、文部科学大臣賞 阿部早紀 ■第74回全日本学生英作文コンテスト 東北大会 スピーチ部門 第2位 細川舞香 【芸術学系・音楽コース】 ■第12回東京国際声楽コンクール本選 高校3年・卒業生部門 入賞 瀧沢幸香 ■第12回東京国際声楽コンクール本選 高校1・2年生部門 入賞 小野寺陸 加藤史也 ■第74回全日本学生英作文コンテスト 東北大会 新声部門 高校3年 奨励賞 瀧沢幸香 ■令和2年度若者芸術祭市内学生英語スピーチコンテスト 【俳句部門】 優良賞 菊池悠花 入賞 小野寺陸 佐々木大輝 山田聖実 ■岩手県立不来方高校2020 いわて高校生小説文芸コンクール 第1位 瀧沢幸香 ■全国高等学校総合文化祭 第67回 (国際理解、国際協力のための高校生主催の文化コンクール) 岩手県大会 優良賞 加藤千空 ■第41回全日本高等学校国際教育研究大会英語弁論大会岩手県代表選手権 第3位 佐藤光俊	

同窓生からのメッセージ

平成22年度体育学系卒 **安倍千夏**
(元ハンドボール全日本代表)



この度は、同窓会報への寄稿という大変名誉な機会を頂き誠にありがとうございます。平成22年度体育学系卒の安倍千夏と申します。私は小学生の時にハンドボールと出会い、不來方高校を卒業後、筑波大学体育専門学群へ進学し、その後、鹿児島県にあるハンドボール実業団チーム、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリングに入団、2016-2017シーズンは日本代表活動にも参加し多くの経験をさせていただきました。その後2019年に現役を引退しました。現在は、自分がこれまで経験してきたことを岩手の高校生に伝えたいという思いから教育の道を進んでおります。

話は戻りますが、私は競技生活の中で2つのモットーがありました。まず1つは、月並みな言葉ですが「感謝の心を忘れずいつも謙虚に」ということです。ハンドボールを何ん自由なくできる環境、専門的な指導者がいること、自分を応援してくれている方々がいることは当たり前ではないと気がついた時から、このことを大切にしています。



2つ目は「挑戦することを恐れない」ことです。挑戦し失敗することは恥ずかしい思いや、悔しい思いをすることがあるかもしれませんが、しかし失敗は経験になります。経験は人生の財産にもなります。失敗があるから成功の価値を知ることが出来ます。ぜひ、皆さんも挑戦を続けてください。まだ29年の人生ですが、振り返ってみると不來方高校在学時のことが一番濃く思い出されます。3年間一緒に汗を流した部員、熱心に指導してくださった担任の先生や部活動顧問の先生には、卒業し大人になるにつれ感謝の気持ちが大きくなるばかりです。今後は自分が先生と呼ばれる立場になりますが、出会えて良かったと思ってもらえるような教員になれるよう日々精進してまいります。今年度は「まさかこんなことになるなんて」と思うような年だったかもしれませんが、様々な行事や大会が中止・縮小となり悔しい思いや、やり切れない気持ちを抱えた方も多かったと思います。私から皆さんにお伝えしたいことは、行事・大会だけでなくクラスメイトや部員と情熱を持ち過ごした日々の絆は新型コロナウイルスにも負けないものとなり、今後の生涯の励みになると 생각합니다。決して下を見ず、上を見続けて下さい。最後になりますが、今後の皆様のご活躍と、不來方高校及び同窓会の益々の発展を心からお祈り申し上げます。

令和2年度役員

会長	沢田 雅宏	和広 (副校長)
副会長	川村 正章・遠藤 和樹・大河原 正弘・寒河江 敬子	奈穂・遠畑 竜一・石塚 史子
理事	邊見 卓也・池田 亮・太田代 敬子・大河原 奈穂	
監査委員	齋藤 博士・山縣 富雄・佐藤 修一	
顧問	横澤 一男・小原 貞徳・伊藤 民也・松尾 光則	
年次代表者	川村 祥平・内澤 英明・平藤 淳	
1回生	佐々木正義・似里 正勝	2回生 遠藤 和樹・水本 仁史
3回生	関口 晴美・山本 英樹	4回生 草葉 隆和・大河原正弘
5回生	佐野 徹・漆原 謙一	6回生 高館 知記・村上里代子
7回生	横沢 是伸・村上 幸	8回生 菅井周太郎・尾形 香織
9回生	古館 伸郎・浪岡可奈子	10回生 立花 浩二・花坂由記子
11回生	藤原 歩・早坂 美里	12回生 廣田 恵介・片岡 照子
13回生	中村荣里子・藤原 充利	14回生 麻央・渋谷 李樹
15回生	工藤 昌也・田中 利宗	16回生 工藤 唯・吉田あゆみ
17回生	高橋 健人・盛合 将太	18回生 渡邊 翔太・照井はたる
19回生	吉田 彩織・森田 隆亮	20回生 水間 齊吾・中村みづき
21回生	中村 峻・堀合 隆生	22回生 佐藤 佳奈・高橋 愛生
23回生	相原 史香・帷子 瑠夏	24回生 松本 大輝・白澤 裕潮
25回生	中村 大輔・阿部 大樹	26回生 高橋 惇・佐藤 隆祐
27回生	柳田 彩華・天下 海樹	28回生 工藤 光・永井 美帆
29回生	田中 天夢・早坂 璃子	30回生 藤村 優太・室月 華音
事務局長	大沢 勝	事務局次長 岩館 直也
事務局員	内記 徹・高橋 新哉・山本 修平	

令和2年度卒業生(31回生) 学級幹事

<◎は年次代表者>

1組	石川 美月 (いしかわ みづき)	松草 美月 (まつくさ みづき)
2組	佐藤 海 (さとう かい)	立花さくら (たちばな さくら)
3組	及川 拓人 (おいかわ たくと)	筑後あかり (ちくご あかり)
4組	岩井 紅葉 (いわい くれは)	成田 杏海 (なりた あみ)
5組	阿部 賛 (あべ あきと)	吉田 陸哉 (よしだ あつき)
6組	菊地 舞桜 (きくち まを)	斗成 那奈 (となり なな)
7組	◎大森 輝空 (おおもり きら)	◎佐藤 美優 (さとう みゆう)

事務局だより

令和元年度事業報告

平成31年4月6日(土)	入学式(会長出席)
令和元年7月11日(木)	高校野球県大会パンフレット広告掲載(高校野球選手権県大会)
7月24日(水)	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)広告掲載
8月30日(金)	平成30年度会計監査(齋藤委員・本校第2会議室)
9月7日(土)	同窓会第11回役員会並びに代表者会議
令和2年2月28日(金)	同窓会報第30号発行・同窓会入会式
3月1日(日)	卒業式(会長出席)
3月23日(月)	離任式

令和元年度会計決算報告

●収入の部 (単位:円)				
項目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	摘要
会費	1,666,000	1,657,000	△9,000	2,000円×833名・9,000円返金
繰越金	99,157	99,157	0	
雑収入	10	9	△1	決算利息
計	1,765,167	1,756,166	△9,001	
●支出の部 (単位:円)				
項目	予算額(A)	決算額(B)	増減(A-B)	摘要
運営費	208,250	83,800	124,442	事務費・旅費・渉外費・慶弔費
事業費	791,350	607,599	183,751	会費発行・選抜費補助・広告費
教育支援費	224,910	220,000	4,910	備品購入
積立金	416,500	416,500	0	積立金会計(定期)
予備費	124,157	38500	85,657	
計	1,765,167	1,366,407	398,760	
収支	収入	支出	残額(繰越金)	
	1,756,166円	- 1,366,407円	= 389,759円	

事務局から
会員の皆様へ

～同期会開催の補助～

同窓会会計の会費費の中に、同期会費(業書代補助)があります。卒業年度の学年ごと同期会を企画する際、業書代(通信費)を補助いたします。開催する場合は、本校同窓会担当までご連絡下さい。